

2023-2024 年度 第 1 回 (一社)神奈川県建築士事務所協会 「住・緑・家」運営特別委員会 議事録

開催日時 令和 5 年 4 月 1 9 日 (水) 会 場 神事協会議室 (Web 併用)

出席者 担当副会長 W大和田・○杉本  
 (参集:○) 委員長 ○渡邊 副委員長 梅澤・○杉浦  
 (Web :W) 委 員 W小幡・W新村・○徳家・○黒岩・○中井 アドバイザー ○長谷川

1. あいさつ

2. 各種報告

(1) 前回 3/15 (水) 第 13 回委員会 議事録の確認

(2) 「住・緑・家」販促チラシ等 在庫一覧

番号	販促チラシ等の名称	在庫部数 (4/19 (水) 現在)
①	住宅版リーフレット (A 4)	1,112
②	住宅版パンフレット (A 3 二つ折り) 【新版】	751
②	住宅版パンフレット (A 3 二つ折り) 【旧版】	80
③	会館版パンフレット (A 3 二つ折り)	554
④	三井杉田台自治会館	127
⑤	東急白根自治会館	298
⑥	中里町友会館	790
⑦	茅ヶ崎市本宿自治会館	109
⑧	新沢睦町町内会館	1,394
⑨	大豆戸町内会館	682
⑩	浜田自治会館	997
⑪	「住・緑・家」案内パンフレット	680

・ 3/18 県西支部しごと展 返却分を加算

・ 「住・緑・家」案内パンフレット 行政 64 か所×5 冊使用予定 → 変更あり。

(3) 東浦賀和光自治会館コンペ経過報告 → 進捗なし

(4) 会報誌 KANAGAWA 5 月号 掲載予定記事について

①「住・緑・家」講演会 (1 月 2 5 日 (水) 実施)

・ 記事内容を報告。また内容については、伊藤様に確認を頂いていることが併せて報告された。

②横須賀市森崎リアンシティ自治会館 竣工見学会 (1 月 2 8 日 (土) 実施)

・ 記事内容が報告された。

(5) 「住・緑・家」案内パンフレット 表紙デザイン選定及び賞金振込報告

・ 3 月 2 2 日ホームページにて公表し、3 月 2 9 日に賞金振込完了したことを報告。

(6) 「住・緑・家」活用 自治会館・町内会館建設工事費についての経過報告 (担当: 杉浦副委員長)

《見積書徴収前案件》

◎茅ヶ崎市本宿自治会館 有限会社上原建築設計事務所 上原様 (3/20 連絡)

→ 資料を探すので時間が掛かるとの回答があったことを報告。

◎新沢睦会・町内会館 有限会社伊藤寛アトリエ 伊藤様  
◎大豆戸町内会館 〃  
◎北八朔自治会館 〃

→ 5月連休明けに提出するとの回答があったことを報告。

(7) 「住・緑・家」販促チラシ等 作成依頼についての経過報告 (担当：杉浦副委員長)

《作成前案件》

◎北八朔自治会館 有限会社伊藤寛アトリエ 伊藤様  
→ 5月連休明けに提出するとの回答があったことを報告。

◎森崎リアンシティ自治会館 合同会社 team AeO 一級建築士事務所 徳家 様

(8) 県木連主催木材セミナー 講演会・木材利用補助金説明会について

日時：令和5年5月10日(水) 15:00~17:00

会場：ラジオ日本クリエイト会議室 A会議室

内容：木材利用補助事業（JAS材の補助金事業）の説明など

→ 補助金事業については、今後タイアップ等の可能性も含めて内容を把握したい。

・当会からは5名の申込状況なので、時間が取れるようであれば参加をお願いした。

### 3. 議題

(1) 行政への挨拶廻り 配布担当者の割り振りについて

①実施期間：5月中を目途に実施することとした。

②担当者の割り振りについて

- ・梅澤副委員長より退任の意向が示されたため、担当としない事が説明された。  
そのため、担当は以下とし、挨拶文書（宛名記載。データも送付）と資料を宅配便で送付することとした。  
また、訪問しない（郵送のみを実施する）行政について、訪問実施をして頂けるところがあれば事務局まで連絡して頂くこととした。

黒 岩：横浜市（北部・中部9区 ※1）、川崎市 9区+2市=11×各5部=55部  
※1 青葉区、都筑区、港北区、鶴見区、神奈川区、西区、中区、保土ヶ谷区、緑区

渡 邊：横浜市（南部9区 ※2）、横須賀市 9区+1市=10×各5部=50部  
※2 瀬谷区、旭区、泉区、戸塚区、栄区、金沢区、磯子区、港南区、南区

新 村：相模原市（南区、中央区、緑区） 1市=4×各5部=20部

杉 浦：藤沢市、茅ヶ崎市（2か所）、鎌倉市、三浦市、伊勢原市、秦野市  
6市=7×各5部=35部

小 幡：大和市（2か所）、綾瀬市、海老名市（2か所）、厚木市、座間市  
5市=7×各5部=35部

徳 家：小田原市、南足柄市、真鶴町 2市+1町=3×各5部=15部

長谷川：平塚市、湯河原町 1市+1町=2×各5部=10部

持参物セット：挨拶文書（宛先記載）、会館版パンフレット（A3二つ折り）、自治会館リーフレット（A4 7種）、「住・緑・家」案内パンフレット、協会パンフ（A4四つ折り）

## （2）施工者コンペを今後実施するか否かについて

- ・今回は結果的に手間がかかった。自治会の打合せに2回出席もした。ことが報告された。

（意見、提案等）

渡：建築士事務所の団体なので、原則、実施しない方がよい。また、アナウンスもしない方がよい。

中：単価の判断は難しい。工務店（施工者）が提出してきたものでの判断となってしまうので。

杉：負担の少ない活動で良いのでは。都度判断しても良いが、アナウンスは必要ないと思う。

徳：森崎リアンシティの際にも内容は聞いたが、利用しなかった。自身の知らない地域での仕事だったので、兼業事務所を設計者がピックアップした。設計者に委ねても良いのでは。会員への声掛けも出来ると思う。

大：今回、入札で不調となった理由を整理する必要がある。

設計者より、材料費は検討しているとの回答もあった。社会情勢が急激に変化したことも要因ではあると思うが。コンペの評価基準もあり、講評委員会の評価をどのように理解されたのか。

「施工者コンペ」は、メニューの一つとしてあっても良いと考える。また、デザインビルドのシステム（予算がとても低額であったために利用）もある。

何かあったときのために、残しておいた方がよいと考える。

長：パンフレットにも記載されているので、やめられないが、積極的にアピールする必要もない。相談されたら対応する程度で良いと思う。

今回の金額については、予定金額を大幅に上回る金額となっている。金額が合わない場合、VE案は、設計者が常に行うことである。

結論は、当委員会が積極的に関わる必要はないと思う。

新：海老名名の物件では、タイミングも良く、楽しく利用出来た。会員サービスにも繋がり、工務店とも知り合えた。今回は、入り込みすぎた感じで、負担となったと思う。

会員サービスとしては、残した方がよい。ただし、検証等は必要。

小：無くす必要はないが、積極的に実施する必要はない。設計事務所の団体なので、設計優先で良い。

浦：積極的に実施する必要はない。「住・緑・家」ではやらない方がよい（主催はしない）。

- ・以上の結果から、反省等も含め、検証が必要である。

また、自治会から第三者的なもの（セカンドオピニオン的なもの）を求められた場合の対応も検討。設計者が利用するシステム（設計者への施工者紹介システム）し、設計者が積極的に関与していくようにする。施工者の最終選考は、設計者と自治会が行う。

引き続き、次回も検討していくこととした。

## （3）新入見込み委員の情報について

- ・川崎支部 一級建築士事務所 hanaya 川上 華恵 様  
情報提供を頂きました永島副会長へ委員長が確認することとした。

- ・委員がいないブロック（横須賀ブロック、中ブロック）については、各支部長へ個別にお願いすることとした。

## （4）新規事業・保育園コンペについて

- ・コンペの対象を「幼稚園」・「保育園」・「認定こども園」も入れ、拡大できればとの提案。参考に保育業界専門誌（パステル I T新聞）への広告宣伝に関する資料を説明。意見等をお聞きしたい。

（意見等）

- ・「認定こども園」は、増えている。規模は小さい。
- ・住宅、病院よりはやり易いのでは。
- ・「住・緑・家」コンペは公平性が売りなので、良いのでは。
- ・新しい設計業務へのチャレンジにも良い経験となるのでは。  
誰でも参入が出来るよう、勉強会を実施した方が良い。
- ・手慣れた人もいるし、発注者もそのような方が参加していると思っている。
- ・掲載することは良いが、資料等も含めて対応する準備が必要。
- ・ニーズを抽出する必要がある。
- ・委員会内でも勉強会をしていく必要がある。
- ・保育園などは、小規模、多機能である。
- ・許可を得る物件は、規制があるので、難しいものでは無いと思われる。
- ・病院等と違い、手が付けやすいと思う。

以上から、実施に向けて積極的に検討していくこととした。  
また、次回も議題として検討することとした。担当を渡邊委員長、黒岩委員とした。

#### (5) 委員長及び副委員長の自薦・他薦について

- ・定款施行細則第16条を参考に配布。現在の任期は、6月の総会までとなっていることを報告。
- ・梅澤副委員長は、辞任（委員も含めて）。杉浦副委員長は、副委員長を辞任（委員は継続）の申し出があったことが併せて報告された。
- ・特別委員会の正副委員長は、定款施行細則第16条第8項により互選となっている。同定款施行細則に基づき、渡邊委員は引き続き委員長を続けると表明し、副委員長は渡邊委員が指名する形で黒岩委員と小幡委員が副委員長が就任した。この件は本運営特別委員会内で委員の了承を受け、委員会内の互選が成立した。

#### (6) 委員等退任について

- ・中井委員より、事務所都合により、退職することとなったため、退任することとなった旨報告された。
- ・梅澤副委員長からの体調不良等により委員会を3月末日で退任するとの意向が示されたことが報告された。
- ・長谷川アドバイザーからも委員会出席については、見合わせるとの意向が示された。  
今までの経験値で色々と発言してしまっている。中には押さえつける意見も出てしまう。新陳代謝も必要と思っていたので、発言した。ただし、協力はします。  
投げかけに対する回答等も決まった人しか反応していないので、活性化もして欲しい。

#### (7) 次回 第2回 運営特別委員会

令和5年6月22日（木）10：00～12：00 WEBにて